

5. 早生樹の種苗生産に関する実態調査

早生樹の種苗生産の実態を把握するため、全国山林種苗協同組合連合会及び日本植木協会へ情報の照会を行い、整理した。

5.1. 集計結果

5.1.1. 早生樹生産地域と生産樹種情報

集計結果を表 10 に示す。

表 10 早生樹生産地域と生産樹種情報

地域	生産者数	主な樹種(早生樹)	生産量(本):概算値					
			H29	H28	H27	H26	H25	H24
北海道	2	ヤナギ類	3,000	4,700	5,000			
		ヤナギ類	15,000	400	12,000	14,000	1,700	8,000
広島県	7	コウヨウザン	2,350					
		コウヨウザン	2,000					
		コウヨウザン	8,900	400				
		コウヨウザン	2,300	550				
		コウヨウザン	2,000	1,500	11,000	500	200	
		コウヨウザン	1,000					
		コウヨウザン	1,000					
熊本県	2	センダン	20,000	5,000	500			
		センダン	32,000	22,000	10,000	10,000	10,000	10,000
佐賀県	2	センダン	500	700	800	100	600	1,200
		センダン	2,000	2,000	2,000	1,000	1,000	1,000
大分県*	1	センダン、コウヨウザン	500	600	0	0	0	0
宮崎県	2	センダン	3,000	0	5,400	6,900	0	0
		センダン	16,000	9,700	3,700	500	0	2,500
香川県	1	センダン	3,000					
島根県	1	センダン、コウヨウザン	※試験栽培用のため、数量不明(H29)					
合計	18	*主な樹種(早生樹)はセンダンだが、生産量にはチャンチンモドキの数量を記載						

全国 8 道県 18 箇所では早生樹の生産・育苗が行われていた。樹種毎に見ると、ヤナギ類の生産量が多いのは北海道で、平成 29 年度予定生産量 18,000 本/年、センダンの生産量が多いのは熊本県で、平成 29 年度予定生産量 52,000 本/年、コウヨウザンの生産量が多いのは広島県で、平成 29 年度予定生産量 19,500 本/年、チャンチンモドキの生産量が多いのは大分県で、平成 29 年度予定生産量 500 本/年であった。なお、大分県生産者の主たる早生樹種はセンダン・コウヨウザンであったが、本調査結果唯一のチャンチンモドキ生産事業者であったため、表中の数量は、チャンチンモドキの生産数量を記載している。また、島根県では今年度より試験栽培を開始しているため、数量は不明となっている。

さらに、コウヨウザンを先駆的に生産している広島県樹苗農業協同組合に対して追加ヒアリングを実施した。ヒアリング結果として、農林水産みらい基金を活用して中国から種子を購入して裸苗 10 万本の生産計画で作付を行ったところ県内需要 4.6 万本に対して、

得苗数は1.8万本であったとのことである。得苗率が低かった理由の1つに苗畑立地に課題があるとの情報を得た。詳細については現在調査中である。また、マルチキャビティコンテナによるコンテナ苗生産についても検討しているとの追加情報も得た。

5.1.2. 早生樹の規格と価格

表 11 生産されている早生樹の規格と価格

地域	樹種	サイズ	金額	備考	
北海道	ヤナギ	50 cm	79 円		
		70 cm	89 円		
広島県	コウヨウザン	20-30cm	77 円	今後廃止の可能性あり	
		30-45cm	99 円		
		45-80cm	166 円		
熊本県	センダン	60 cm	90 円		
		100 cm	110 円		
大分県	センダン	60cm	100 円	裸苗	
		100cm	180 円		
		コウヨウザン	50cm	240 円	ポット苗
			100cm	420 円	
	コウヨウザン	30 cm	90 円	裸苗	
		50 cm	120 円		
		30 cm	220 円	ポット苗	
		50 cm	300 円		
		30 cm	220 円		
	チャンチンモドキ	60 cm	300 円		
100 cm		350 円			
宮崎県	センダン	80 cm	65 円		

苗木の規格及び価格に関する集計結果を表 11 に示す。

ヤナギは 80 円～90 円/本と、100 円以下であった。

センダンは裸苗による生産である。熊本県の規格は、小さいもので 60 cm 上、大きいもので 100 cm 上であった。価格は 90 円～110 円/本であった。宮崎県のセンダンは 80 cm 上で 65 円/本と 3 県の中で最も安い価格となった。

広島県のコウヨウザンには 3 種類 (20-30 cm、30-45 cm、45-80 cm) の規格があった。追加ヒアリング調査の結果、20 cm 上の最も小さい苗木については、今後生産が中止される可能性をあるとのことであった。その理由は、苗木が小さく、下刈り時に植栽木の確認が困難であるとの意見があったためである。なお、コンテナ苗のコウヨウザンも生産しているが、現在試験段階ということもあり、価格の情報が得られず、金額は不明である。

大分県のコウヨウザンでは、裸苗の他に、ポット苗及びコンテナ苗でも生産していた。それぞれ需要があるためとの回答を得た。なお、今年度は裸苗、ポット苗、コンテナ苗の 3

規格合計で 3,000 本/年となっている。

チャンチンモドキの生産は大分県のみである。1本当たりの価格は4樹種の中で最も高く、山出し用の苗木ではない可能性も考えられる。昨年度はポット苗も生産しており、価格は裸苗と同様に高く 400 円/本で生産していたが、今年度はポット苗の需要がないため裸苗のみの生産である。

5.1.3. 種穂の入手先と苗木供給先

表 12 種穂の入手先及び苗木の供給先

北海道	ヤナギ	種穂の入手先	自家採取	付近の山林	
		苗木の主たる供給先	森林組合	露天掘り跡地	国有林
広島県	コウヨウザン	種穂の入手先	海外(種子)		
		苗木の主たる供給先	森林組合	森林総合研究所	
佐賀県	センダン	種穂の入手先	自家採取	林業試験場	県苗組
		苗木の主たる供給先	県苗組	佐賀県森連	
熊本県	センダン	種穂の入手先	採種園	付近の山林	
		苗木の主たる供給先	森林組合	試験場等	
大分県	センダン	種穂の入手先	自家採取		
		苗木の主たる供給先	森林組合	緑化事業者	
	コウヨウザン	種穂の入手先	海外(種子)		
		苗木の主たる供給先	県内外事業者	緑化事業者	
	チャンチンモドキ	種穂の入手先	県内同業者		
		苗木の主たる供給先	森林組合	緑化事業者	
宮崎県	センダン	種穂の入手先	自家採取		
		苗木の主たる供給先	森林組合		

次に、種穂の入手先と生産した苗木の主たる供給先（販売先）を表 12 に示した。

センダンについては、自家採取もあるが、熊本県では選抜された品種を手配する場合や、近隣の山林より調達する場合もあるとの回答を得た。コウヨウザンについては、全ての種子を海外から輸入しているとの回答を得た。ヤナギについては、自家採取もあるが近隣の山林より調達する場合もあるとの回答を得た。チャンチンモドキについては、大分県内の

事業者より購入するとの回答を得た。

コウヨウザン以外（熊本県のセンダンの一部を除き）は全て自家採取となっており、生産当時の種穂入手については、近くの山林から入手したとのことであった。コウヨウザン種子の輸入先は中国であった。

生産した苗木については、その供給先は森林組合が最も多く、森林組合が購入し植栽するか、あるいは森林組合を通じて県内外の事業者が購入する流れが多いとのことであった。近年早生樹は注目されていることもあり、試験目的で当協会を含む事業者や研究機関などが購入していた。

5.2. 早生樹生産等に関する情報

本調査を実施した結果、早生樹の苗木生産については、概ね試験的な利用が主たる目的として生産されていた。

先駆的にセンダン苗木生産を行っている熊本県では、家具業者からの要望により、長さ4m、末口直径40cmの材を目標にしている等、試験的導入のための苗木供給ではなく、用材利用としての苗木供給を行っている事業者も存在する。バイオマス用として生産する事業者もあるため、現状では用材用とバイオマス用の2つの目的で苗木が供給されている。

また、コウヨウザン苗木生産を先駆的に行っている広島県では、試験植栽的用途での苗木供給と同時に、用材生産を目的とした苗木供給体制の構築も目指している。

ヤナギについては、北海道でのバイオマス利用が盛んであり、実証研究及びバイオマス用の苗木が供給されている。

チャンチンモドキについては、山出し用苗木ではなく、主として緑化用や造園用として流通している可能性が高く、そのため、本調査の結果では1事業者分の回答しか得られなかった可能性が高い。

調査の結果として考えられる課題は以下のとおりであり、これらを注視する必要がある。

➤ 生産方法の確立

✓ 管理方法について

水やりや施肥等、不明な点がある（広島：コウヨウザン）

コンテナ苗生産技術が不明である（広島：コウヨウザン）

✓ 苗畑選定

育苗に最適な立地が不明な樹種がある（広島：コウヨウザン）

➤ 苗木需給の明確化

✓ 需要先が限定的

一般的に普及している樹種ではない（佐賀、香川）

生産はできるが出荷見込みが多くない（北海道：ヤナギ、宮崎）

- ✓ 供給量を増やすための施策
行政などが材の需要を把握して生産量を設定する必要がある（大分）

- 規格、価格の設定
 - ✓ 適正な価格や規格（裸苗、ポット苗、コンテナ苗）の設定
サイズ、種類、苗齢等、適正な値が定まっていない（香川）
価格が安い（北海道：ヤナギ、熊本：センダン、佐賀：センダン）